

副市長レビュー（春）調書

1 部局名 (課名)	消防局 (警防課)	
2 協議事項 (案件名)	消防ヘリコプターの運航体制について	
3 背景・現状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防ヘリコプター「はまかぜ」を導入してから、平成 31 年度に 10 年目の節目を迎える。 ・ 平成 28 年の出動件数は 175 件であり、指定都市人口 1 万人当たりの出動件数は 1 位となっている。 ・ 平成 29 年度浜松市包括外部監査結果報告書より浜松市として消防航空隊運営事業を継続することの必要性について検討する必要があるとの意見を受けた。 	
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防ヘリコプター「はまかぜ」を適正に維持管理していくために、今後約 20 億円の支出が見込まれる。 	
5-1 方向性の提案	<ul style="list-style-type: none"> ① これまでの活動状況等から、消防航空隊運営事業を継続する。 ② 適正に維持管理を行うとともに、10 年後の 6,000 時間点検前の平成 40 年度に機体を更新する。 ③ 共同運航の可能性を探る。 <p>また、新たに「はまかぜ」の広域運航についても検討する。</p>	
5-2 論点 (方向性の決定に向け議論する事項)	<ul style="list-style-type: none"> ① 消防航空隊運営事業の継続及び機体更新の時期 ② 共同運航及び広域運航の可能性 	
6 結果	<input type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> サマーレビューで審議 <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input checked="" type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	具体的内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 当面は、消防ヘリコプターの操縦士確保に努めること。 ・ 操縦士を確保した上で、他市と連携し、共同運航の実現を働きかけること。
7 その他		